

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	にじいろ保育園南水元
施設所在地	東京都葛飾区南水元1-12-6
法人名	ライクキッズ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

茶道

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
本園では、日頃から日本の行事や季節の移ろいを大切にし、落ち着いた環境の中で物を丁寧に扱う経験を積み重ねてきた。また、子どもたちはごっこ遊びやおままごと、給食準備の場面で「どうぞ」「ありがとう」とやりとりすることや、大人の所作を真似することに強い興味を示している。静かに話を聞いたり、順番を待ったりすることへの関心も育ってきている様子が見られるため、日本文化である茶道をテーマに設定し、子ども自身が「なぜだろう」と感じながら、所作や道具、雰囲気の中で夢中になって関わる過程を大切にしたい探究活動ができると判断した。

2. 活動スケジュール

R7.6月-R8.2月

お茶を味わってみる。

お茶でリラックスをして、茶碗と菓子の扱い方を知る。講師が点てたお茶を味わう。

お茶を点ててみる。

お茶のご挨拶、茶碗と菓子の扱い方。

おもてなしの心、お菓子とお茶の出し方。

お茶会のおもてなしを知り楽しむ。お茶会の実践を体験する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【準備物】茶碗、茶筌等

【環境設定】落ち着いた空間づくり、茶道の雰囲気が感じられる環境を意識し、茶碗や茶筌等の簡単な和の道具を取り入れた。安全面にも配慮して保育者がそばで必ず見守る配置で行う。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

お茶を実際に味わうことでその風味や特徴に親しみ、自らお茶を点てる体験を通して基本的な作法に触れる。また、友だちのためにお茶を点てる活動を行い、相手を思いやる気持ちを育むとともに、お茶会におけるおもてなしの心についても理解を深める。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

保育者が抹茶を点てる様子を見せ、茶筌の動きやお茶が泡立つ様子を見せ、茶筌の動きやお茶が泡立つ様子に子どもたちは興味深く見入っていた。その後、1人ずつお茶を点てる。「茶筌ってこうやって持つんだっけ?」「お茶碗は両手で持つんだよね」と子どもたち。子どもたちは普段の生活とは異なる静かな雰囲気の中で、自然と姿勢を正し、相手のことを意識しながら関わる姿が見られた。また、お茶を渡す側も受け取る側も、少し緊張しながらも嬉しそうな表情を見せていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の茶道体験を通して、子どもたちが「相手を思う気持ち」を行動として表現する力を十分に持っていることに気づかされた。普段の生活の中では活発に動き回る姿が多い子ども達であるが、活動が始まると自然と姿勢を正し、静かな雰囲気の中で落ち着いて取り組もうとする姿が見られた。今後もこのような日本の伝統文化に触れる機会を大切にしながら、子どもたちの豊かな心の育ちへとつなげていきたいと思った。